



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
コード番号 3104 URL <http://www.fujibo.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中野 光雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 三木 康史

TEL 03-3665-7612

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,214	15.2	5,661	82.1	5,466	91.9	3,358	105.3
24年3月期第3四半期	27,965	3.8	3,109	7.4	2,849	6.3	1,635	175.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,368百万円 (86.4%) 24年3月期第3四半期 1,807百万円 (214.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	32.49	—
24年3月期第3四半期	16.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	49,353	—	20,943	—	42.3	—
24年3月期	40,129	—	13,941	—	34.6	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 20,892百万円 24年3月期 13,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	13.6	6,100	74.3	5,700	78.6	3,400	160.3	31.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	117,200,000 株	24年3月期	108,000,000 株
25年3月期3Q	532,387 株	24年3月期	5,927,831 株
25年3月期3Q	103,385,279 株	24年3月期3Q	102,073,813 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等に支えられ緩やかに回復を続けてきましたが、欧州債務危機問題の長期化や中国経済の成長鈍化など海外経済の減速懸念のなか、第3四半期末には円安への変化が見られたものの、総じて先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、繊維素材、肌着などの繊維事業と超精密加工用研磨材の研磨材事業および医薬中間体などの受託製造の化学工業品事業を中心に営業力、開発力の強化を進め、収益力の改善に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は32,214百万円(前年同期比4,249百万円、15.2%の増収)で、営業利益は5,661百万円(前年同期比2,552百万円、82.1%の増益)、経常利益は5,466百万円(前年同期比2,617百万円、91.9%の増益)となりました。また四半期純利益は、3,358百万円(前年同期比1,723百万円、105.3%の増益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①繊維事業

B. V. D. ブランドなどの繊維製品では、個人消費低迷の影響が続くなか、プライベートブランド商品との競争激化により、大手量販店など店頭での販売苦戦を強いられました。紡績、テキスタイルも需要の低迷と原綿他原材料価格の下落に伴う値下げ要請により厳しい環境で推移しました。

この結果、売上高は前年同期比40百万円(0.3%)増収の11,902百万円となりましたが、営業利益は144百万円(31.6%)減益の313百万円となりました。

②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、シリコンウエハー、ハードディスク用途は低調でしたが、液晶ガラス用途は回復基調となりました。これに半導体デバイス用途(CMP)での大幅な伸びと新規用途の伸長も相まって、第3四半期累計期間としては過去最高の売上高、営業利益を計上することができました。

この結果、売上高は前年同期比3,981百万円(52.7%)増収の11,533百万円となり、営業利益も2,711百万円(121.6%)増益の4,941百万円となりました。

③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、農薬・機能品を中心に引き続き堅調に推移し、フル生産を続けることができました。

この結果、売上高は前年同期比425百万円(9.1%)増収の5,113百万円となり、営業利益も57百万円(20.1%)増益の341百万円となりました。

④その他

自動車関連では、日本からの輸出は減少したものの、アジアから中南米への輸出が概ね順調に推移しました。化成品は国内ユーザーの生産回復や新規受注獲得により前年同期比増収・増益となりましたが、精製は安価な海外輸入溶剤との競合により苦戦し、電子機器製品の産業用プリント基板はコスト構造の改善を進めたものの、ユーザーからの受注が回復せず低調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比198百万円(5.1%)減収の3,665百万円となり、営業利益も72百万円(52.9%)減益の64百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて8,189百万円増加の25,427百万円となりました。これは、現金及び預金が新株式の発行並びに自己株式の処分により増加した他、研磨材事業の売上増加やアングル(株)が連結子会社となったことにより受取手形及び売掛金、棚卸資産などが増加したこと等によります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1,035百万円増加の23,926百万円となりました。これは、設備投資などにより有形固定資産が増加したこと等によります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて9,224百万円増加の49,353百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて1,930百万円増加の19,943百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、その他の流動負債が増加したこと等によります。固定負債は前連結会計年度末に比べて292百万円増加の8,466百万円となりました。これは、長期借入金は減少しましたが、退職給付引当金が増加したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2,222百万円増加の28,410百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて7,001百万円増加し、20,943百万円となりました。これは、剰余金の配当の実施による減少408百万円があった一方、新株式の発行並びに自己株式の処分による増加4,043百万円、四半期純利益の計上による増加3,358百万円があったこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期累計期間までの業績は概ね予想通り推移していることから、通期の業績予想につきましては平成24年11月5日公表時から変更しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,214	5,542
受取手形及び売掛金	8,321	13,451
商品及び製品	2,424	2,998
仕掛品	1,171	1,535
原材料及び貯蔵品	972	1,078
その他	1,144	834
貸倒引当金	△12	△15
流動資産合計	17,238	25,427
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,447	13,767
その他(純額)	7,666	8,377
有形固定資産合計	21,114	22,144
無形固定資産		
	197	180
投資その他の資産		
その他	1,585	1,604
貸倒引当金	△6	△3
投資その他の資産合計	1,579	1,600
固定資産合計	22,890	23,926
資産合計	40,129	49,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,972	5,691
短期借入金	9,674	9,360
未払法人税等	809	1,106
引当金	566	452
設備関係支払手形	144	661
その他	1,846	2,672
流動負債合計	18,013	19,943
固定負債		
長期借入金	940	672
退職給付引当金	3,542	4,310
引当金	5	10
資産除去債務	200	206
その他	3,484	3,266
固定負債合計	8,173	8,466
負債合計	26,187	28,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,400	6,673
資本剰余金	0	2,174
利益剰余金	6,866	9,675
自己株式	△653	△58
株主資本合計	11,613	18,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	93
繰延ヘッジ損益	3	△3
土地再評価差額金	2,222	2,364
為替換算調整勘定	△36	△26
その他の包括利益累計額合計	2,287	2,427
少数株主持分	40	51
純資産合計	13,941	20,943
負債純資産合計	40,129	49,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	27,965	32,214
売上原価	18,606	19,863
売上総利益	9,358	12,351
販売費及び一般管理費	6,249	6,689
営業利益	3,109	5,661
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	31	30
固定資産賃貸料	121	118
その他	31	65
営業外収益合計	187	217
営業外費用		
支払利息	159	146
固定資産賃貸費用	80	77
その他	207	187
営業外費用合計	447	411
経常利益	2,849	5,466
特別利益		
固定資産売却益	10	12
その他	1	1
特別利益合計	12	14
特別損失		
固定資産処分損	52	158
減損損失	345	286
その他	24	10
特別損失合計	423	455
税金等調整前四半期純利益	2,437	5,025
法人税、住民税及び事業税	1,088	1,899
法人税等調整額	△295	△241
法人税等合計	793	1,657
少数株主損益調整前四半期純利益	1,644	3,367
少数株主利益	8	9
四半期純利益	1,635	3,358

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,644	3,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△3
繰延ヘッジ損益	△2	△7
土地再評価差額金	232	—
為替換算調整勘定	△59	11
その他の包括利益合計	162	0
四半期包括利益	1,807	3,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,803	3,357
少数株主に係る四半期包括利益	4	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,861	7,552	4,687	24,101	3,863	27,965	—	27,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	5	—	14	37	52	△52	—
計	11,871	7,558	4,687	24,116	3,901	28,018	△52	27,965
セグメント利益	457	2,230	284	2,972	136	3,109	△0	3,109

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産及び売却の意思決定をした固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識した。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては342百万円である。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,902	11,533	5,113	28,549	3,665	32,214	—	32,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	6	—	10	3	14	△14	—
計	11,906	11,540	5,113	28,559	3,669	32,229	△14	32,214
セグメント利益	313	4,941	341	5,596	64	5,661	0	5,661

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

その他の事業において、当該部門の業績低迷のため減損損失を認識した。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては164百万円である。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成24年11月15日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間において公募による新株式発行並びにオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当による新株式発行をおこない、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,273百万円増加しました。また、当第3四半期連結会計期間において自己株式の処分により資本剰余金が899百万円増加し、自己株式が595百万円減少しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は6,673百万円、資本剰余金は2,174百万円、自己株式は△58百万円となりました。

(6) 重要な後発事象

該当事項なし。